

「紙の受診票」を未だ使っている乳幼児健診をIT化し
保護者も自治体もラクチン・コストダウン

スマ健診 概略

20周年

IMD Inc.

スマ
健診

商標出願済

※ スマ健診:クラウド型の健診システム

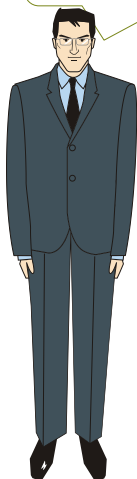
「スマ健診 乳幼児版」とは？

スマ
健診

= IMDが開発したクラウド型スマート健診システム

- 開発には5年超を費やし実用化
- 従来比数倍の時間効率化を実現した「**簡単**」な健診システム
- **個人情報**をサーバーで扱わない安全設計なので、漏洩がない

非常に簡単に
申し上げると・・・



※しかし、診査画面に氏名等は表示されます

紙の問診票



コンピュータ管理

問診票		平成 年 月 日
氏名	種	性別
生年月日	〒	住居
年齢	職業	アレルギー
身長	体重	既往歴
血圧	血糖	現在服用薬
体温	脈拍	喫煙状況
呼吸器	消化器	アレルギー
泌尿器	循環器	アレルギー
皮膚	神経系	アレルギー
眼耳鼻	内分泌	アレルギー
その他	その他	アレルギー



利点は？



実施義務と都道府県への報告義務のある自治体としては
健診予定通知、問診から健診当日診査、都道府県報告、統計まで全て一式提供し
全てデジタル化されているので、紙の問診票のPC入力作業等が不要でスムーズに。
診査では履歴表示、グラフ自動生成、異常値は強調表示されるなど精度向上支援

スマ健診導入によるメリット



つまり、安く速くて便利で損がない、
これから標準となるシステム

「紙の受診票」を使っている乳幼児健診を簡単にIT化できる総合パッケージ「スマ健診」が誰にとって、どのようなメリットがあるか、ダイジェストでまとめました。

保護者に嬉しい（乳幼児版）

◆ スマホで簡単、保護者の負担減

健診毎に同じ内容を記入したりする手間が不要に。住所などの入力も不要。スマホだから時間予約にも対応でき、いつでも健診予定日が確認でき、荒天などで中止などの場合も自治体からの通知がスマホで即座に受信できる。また、予防接種のスケジュール管理や接種管理もできる。

◆ 健診会場でウィルス感染リスク減

受付や診察では電子マネーと同じように「手帳」をかざすだけで受付でき、スムーズになって混雑解消。プライバシー意識が高い人でも安心な最先端の安全性。

医師やスタッフを助ける

◆ 診察履歴が参照できる

異常値など注視項目が**自動提案**され、数値は**自動グラフ化**。標準との比較が明確になるなど、医師・保健師が問診へ注力でき**診察精度が向上**、本当にケアが必要な子への濃厚な対応が可能

◆ 無所見時はワンクリックで診察終了

◆ **手間が多い歯科も片手入力 & 自動計算**
齲蝕罹患など面倒な計算も自動対応

自治体や国が求めるシステムがスマ健診

◆ 問診や所見等のデジタル化の**費用コスト(時間・労力)**が低減

◆ 報告書や統計関連の資料も簡単に作成できる**セット**が提供

◆ 高価な専用機器や専用システムは不要、従来のエクセル作業や記録に対応

◆ 受診状況が予定時から全て一括管理できて**シンプル**

◆ 保護者へメッセージ通知も**無料で即送信**

◆ 既存の受診「紙」から、**ゆっくりデジタル化へ移行する支援システム**を用意

現行システムから**移行も安心**。既存親子健康手帳へ健診結果を貼り付ける自動印刷機能も準備

◆ **健診後のカンファレンスや精査票も、個人情報付きで即座に自動印刷**

ナンバリングや有所見者情報もワンクリックで印刷やファイル化が可能



弊社唯一

個人情報も履歴も確認でき

待ち時間減でクレーム削減、予約対応、スマホ対応で問診もラクチン、多言語、各種印刷に対応

快適・便利



サーバーに個人情報を保存しないので

個人情報漏洩の懸念がなく

安心・安全

「乳幼児健康診査(健診)」とは(参考)

- **法令(母子法12条、13条)で市区町村自治体に実施義務のある健康診査**
 - ✓ **乳児前期(3-4/6), 乳児後期(9-10), 1.6歳, 2歳歯科, 3歳の区分で5回**
 - 母子法十二条で1.6/3歳を定義、十三条で乳児、近年2歳歯科が追加(順次)
- **各市区町村の自治体を実施**
 - ✓ 実施結果について都道府県を介して、厚労省へ最終的に報告
- **実施会場や手法は市区町村によって様々**
 - ✓ 市区町村役所やクリニック、病院等で集団又は個別実施
- **健診費用は市区町村自治体が支出**
 - ✓ 医師の手配、スタッフの手配、デジタル化、事務処理等

厚生労働省のデジタル化施策(参考)

厚労省は個人治療歴の一元管理を企図¹⁾

報告にもデジタル化時代

厚生労働省
個人治療歴を一元管理 医療効率化 20年度から

毎日新聞 2016年10月19日 21時31分 (最終更新 10月19日 23時05分)

社会 > 医療 > 医療 > サイエンス >

国民の保健医療データ統合のイメージ

※厚生労働省の資料を基に作成

国主導で患者データの種類・規格を統一

- 基本情報 (性別、年齢など)
- 病歴、服薬歴
- 検査情報
- アレルギー、副作用
- 健診情報
- 介護情報 など

厚生労働省は19日、病院での治療歴や健診結果など国民の医療や保健に関するさまざまな情報を統合し、病院や介護などの現場で活用できるデータベースを2020年度から運用する構想を明らかにした。国民一人一人に最適な医療や保健サービスの提供を目指すとともに、投薬や検査の重複を防ぐことで医療費の節約にもつなげたい考えだ。一方、情報提供への同意の取得や個人情報の取り扱いなど、実現には高いハードルが想定される。

現在、個人の治療情報や、予防接種記録、健康診断のデータなどは、病院や自治体などが別々に保有している。この日、塩崎恭久厚労相が設置した有識者懇談会が保健医療分野の情報通信技術の活用に関する提言書をまとめた。その中で、国民の医療、保健、介護に

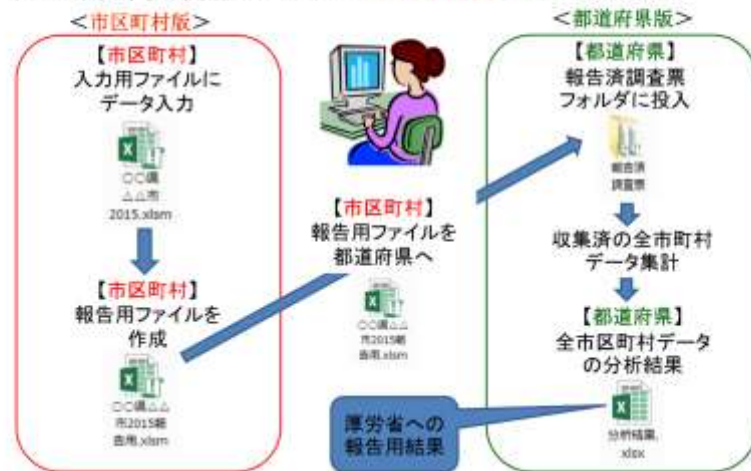
かかりつけ医
病院
救急・災害対応
介護サービス
健康サポート

国民の保健医療データ統合のイメージ

「健やか親子21(第2次)」研究報告(引用・参考)

情報収集と報告までの流れは？

乳幼児健診情報システム<市区町村版と都道府県版>



乳幼児健診のデジタル化コストの解決に、スマ健診が有効

フルデジタル化対応のスマ健診 乳幼児版

1

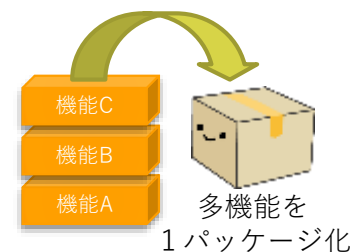
乳幼児健診をフルデジタル化

- 乳幼児健診は全世代で唯一、全国市区町村等自治体に「実施義務」が母子保健法で課されている「健康診査」
- 未だに多くの自治体は「紙の受診票」を使っているが、近年厚労省の指針で実質「デジタル化」指示が提示され、紙の内容をPCに再入力する手間をかけており、その手間を省く(コスト的にも時間的にも)必要性あり

2

システムは準備済

- 健診対象者への通知から事前問診、当日受付、測定や診査、指導、健診後のカンファレンス、精査票印刷など多岐に亘る健診内容のすべてについて、弊社は5年かけ「フルデジタル化」を実現したシステムを開発済



将来的に乳幼児健診だけでなく、一般健診などでも統一管理が可能

現状の乳幼児健診の手順

問診

測定・診察

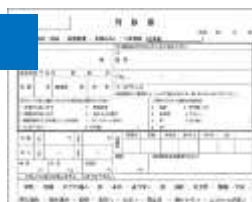
指導・統計

現状



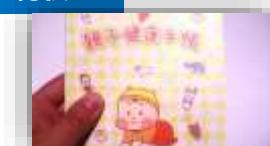
保護者による問診の当日記載(現在)

現状



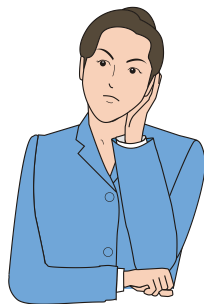
医師・スタッフによる記載(現状)

現状



健康手帳へ記載(現状)

時間がかかる
混雑・面倒
履歴参照できない



履歴参照できない
口腔入力も大変
誤記載も発生

記載の手間
紛失時間問題

課題が多く、改善の余地が多い事実

スマ健診の高い効率性



自治体での受付から、予診チェック、測定、診察、保健師の保健指導、親子健康手帳(母子手帳)への記載まで、有所見無しの問題がない子供でも、**従来の健診では 1 時間～数時間かかる。**



医師、保健師、歯科医師、スタッフらが実際の受診票データをもとに、**スマ健診**で健全児を前提に各健診種別全てで受付から終了まで実証したところ
平均 約10分 で完了

**従来比 1/6～1/10 まで時間短縮を実現
つまり、スマ健診により圧倒的な効率化が可能**

スマ健診 構成リスト

※小規模な場合、Windows PC 1台と Android タブレット1台
そしてインターネット接続があればOK

構成システム	対象	Android	iOS	Windows	主たる機能
健診管理Web ※ ブラウザ 	自治体・協会			●	◇ 健診日設定作成及び予約スロット作成、メッセージ通知機能 ◇ 健診時の医師・保健師・スタッフ等の管理機能（セキュリティ） ◇ 各種統計データのCSVダウンロード機能
保護者アプリ  	保護者	●	●		◇ 事前問診機能 ◇ 健診予約機能 ◇ 予防接種管理機能 ◇ QRコード表示機能 ◇ 健診進捗状況把握・誘導機能 ◇ NFC機能（Androidのみ）
業務アプリ 	スタッフ、 保健師 (自治体/協会)	●			◇ 住所や連絡先変更時用の住所変更QRシートを印刷機能 ◇ 親子健康手帳など「印刷」機能
Windowsアプリ 	医師等			●	◇ 診察、測定等の入力及び履歴参照機能 ◇ 親子健康手帳用印刷機能（個人情報無し・整理番号対応）
受診者リスト ※ NFC読み取り・書き込み用 専用Windows アプリを含む 	スタッフ (自治体/協会)			●	◇ 氏名・住所等の個人情報及び健診結果を扱う機能（オフライン） ◇ 個人情報をもとに、健診案内の郵送用資料の作成・自動印刷機能 ◇ 健診結果の管理用印刷や個人情報変更のマスター機能
受診票入力システム	協会・スタッフ			●	既存の紙面受診票を本システム導入と併用して利用する場合に、 オペレーターによって効率よく入力できる専用機能

保護者アプリ



QRコード

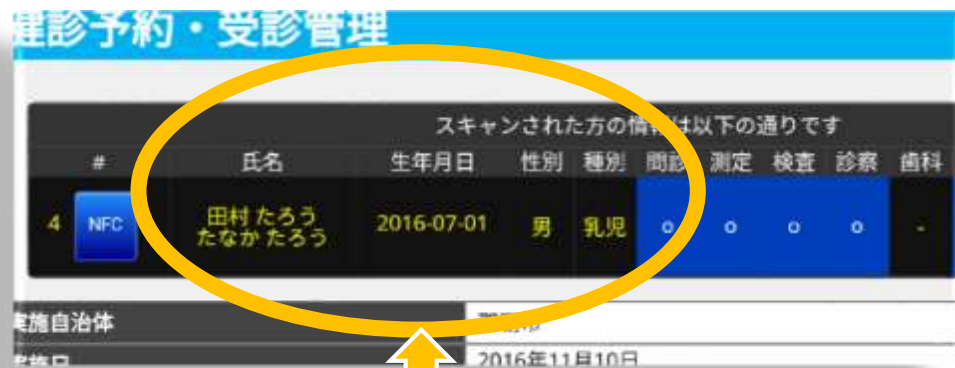
保護者アプリ
(日本語・英語)



案内状の
QRコードから
簡単予診入力

日程や状況確認

健診当日受付



案内状か
スマホ持参で
スムーズ受付



本人確認さえ出来れば、ワンクリック対応



瞬間で
NFC作成

専用アプリで受付

終了処理 (カンファレンス等)

業務アプリから
氏名や住所付きの
精査票台帳や
フォロー台帳等を
ワンクリック印刷

つまり、健診業務に必要な
全てが揃っています



スマ健診は多機能で実用的、個人情報など各種問題を解決済

分類	機能	弊社対応	参考他社	弊社備考
健診対応	通知	○	メール	個人情報であるメアドを取得せず、専用アプリで通知し、日程変更も対応。郵送通知用の印刷システムも完備。
	予防接種連携	○	予定のみ	弊社は予防接種状況も問診へ自動連携し入力不要
	問診・診察（保健師・医師・歯科対応）、待ち時間表示・管理	○	×	健診のオンライン化・自動化による 精度向上、職員労力負担、時間の短縮、 個人情報を保護するためのコストの低減など 「メリット」は自治体として大きな利点 更に、現状システムからの移行システムも提供
	各種精査票、紹介状、親子健康手帳貼付用紙印刷対応	○	×	
	事前問診・予診入力及び健診時間予約システム対応	○	×	
	診察・測定履歴の参照、異常値の自動発見通知	○	×	
予防接種	予防接種スケジューラー機能	○	○	弊社は某キャリア系サービスとして構築実績があります
	予防接種スケジュール個別通知機能	○	○	弊社では健診と同じく案内状印刷機能も対応
	実施自治体等单位での詳細設定（予防接種ルール変更等）	○	○	健診連動の詳細な調整が可能（専用管理システム）
	カレンダー連携機能	○	△独自	Google カレンダーとiCal（予定）に対応
妊婦健診	妊婦健診スケジュール配信	オプション	オプション	児の出生体重や妊娠時の状況を継承して自動管理
住民サービス	保育園・幼稚園の空き情報やイベント、流行ウィルス情報配信	オプション	オプション	掲示板機能の提供、発育段階に応じたメッセージ
	成人・婦人科・特定検診、高齢者ワクチン等のスケジュール	オプション	オプション	乳幼児と同等に各検診・健診について展開予定
	かかりつけ医の設定機能	オプション	オプション	健診時の紹介先などで情報としてDB化は予定済
育児サービス	子育てハンドブック（施設情報/イベントカレンダー）	オプション	オプション	順次対応予定（情報・イベントは住民サービス対応）
	子どもの成長記録	オプション	オプション	「育児ダイアリー」として構築実績（現未公開）
その他	個人情報をサーバで管理（個人情報をインターネットで取扱）	×	○	弊社は個人情報をサーバーで管理せず（漏洩リスク無し）
	保護者アプリ対応機種	スマホ	ガラケPCスマホ	PCは検討中（最新ガラケーはPC対応の為）

スマ健診 その他の特徴

□ 多言語に対応（現在は英語対応済）

- ✓ 海外の方への問診に対しても、自動英語表示で対応可
 - 英語版で問診入力されても、医師やスタッフには日本語表示
 - 結果印刷についても、英語を選択可能

□ 問診や診査内容を市区町村毎カスタマイズ可能

- ✓ 地域独特の調査内容等を確認することも可能
 - 専用編集システムを用意しており、対応可能

□ ランセンスフィーは対象児数に応じて

- ✓ 自治体規模に応じ、最適なモデルをご提案致します
- ✓ 最終的に現状よりコストダウンできることを目標とします
 - ご遠慮なくご相談下さい、各種ケースに対応致します

スマ健診

デジタル化の必要性が生じた
普及の絶好機会



デジタル健診にフル対応した
唯一の完成品

開発元:株式会社IMD 会社概要(現況)



□社名

✓株式会社アイ・エム・デイ (英語表記 IMD Inc.)

□本社

✓東京都港区麻布十番 2-19-4 -501

□創業

✓1996年9月

□代表取締役社長

✓峯尾淳一 (1996年度慶應義塾大学大学院卒)

□資本金

✓2,000万円

□事業内容

✓ヘルスケア事業

- 食品栄養データ外販事業
- 食品栄養データ関連事業
- ヘルスケアサービス・アプリ事業

✓医療・健診支援事業

- 健診・検診システム事業

✓その他

- Webメール事業(世界初モバイルWebメール)
- 開発受託事業

□名誉顧問

✓慶應義塾大学 環境情報学部長 村井純 (無報酬)

□顧問会計士

✓公認会計士・税理士 村上利幸 (村上会計事務所)

□監査役

✓桑原修

□正社員数

✓9名 (在宅勤務制度による勤務体系)

□代表電話

✓03-6809-6108

□ファックス

✓03-6809-6099

□URL

✓imd.co.jp

□連絡・事務担当

✓桑原咲紀子(くわばらさきこ) soumu@imd.jp